

● 現在の経営状況^{*2}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	4.0 p	△ 2.1 p
不動産流通業（住宅地）	-9.1 p	△ 2.3 p
ビル賃貸業	6.3 p	△ 3.7 p

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	0.0 p	12.5 p
不動産流通業（住宅地）	-0.8 p	15.1 p
ビル賃貸業	4.2 p	4.2 p

住宅・宅地分譲業の経営状況は前期比 2.1p悪化の 4.0p。
不動産流通業は前期比 2.3p悪化の -9.1p。
ビル賃貸業は前期比 3.7p改善の 6.3p。

3ヶ月後の見通しは、住宅宅地分譲業、不動産流通業で改善。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = $\{(\text{「良い」} \times 2 + \text{「やや良い」}) - (\text{「悪い」} \times 2 + \text{「やや悪い」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

*3 3ヶ月後の見通し = $\{(\text{「良くなる」} \times 2 + \text{「やや良くなる」}) - (\text{「悪くなる」} \times 2 + \text{「やや悪くなる」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)
[時系列データ\(excel\)ダウンロード](#)